



研修農場新聞

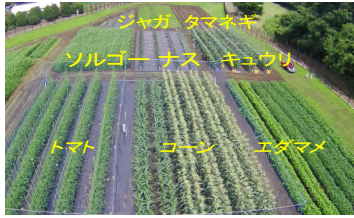
(公財)農林水産振興財団
八王子研修農場
(発行責任者)
農場長 小寺孝治
(無料)

新規就農には農家さんと農業関係機関等との繋がりが重要

不安や失敗も糧に何でもポジティブ思考!

夢や目標に向かって頑張る研修生

2年間で農家になることは大変なことだが、研修農場では1年生、2年生とも、それぞれ自分の夢を叶えるために切磋琢磨しながら毎日真剣に学んでいる。



1年生が実習している第1圃場の一部

2年生は就農モデルを前提とした実践的な作付けや収穫調整等を行うとともに、就農予定地域への農家派遣研修(週2日)もあり、毎日朝から夕方まで全力で自己研鑽に励んでいる。

2年生の声

それぞれの研修生に「将来を見据え、いま自分がすべきことは何か?」との質問に心境を答えて頂いたのがその一部を紹介したい。

木住野さんは、自分で経営していく覚悟と心構えを持つこと、借りる予定の畑を知ることで、目の前の課題に全力で取り組む。

鈴木さんや中村さんは、理にかなった実現性のある経営計画を作成し想定通りに営農できるようにしっかりと準備したい。

佐藤さんは、栽培技術の習得と、近隣農家さんとの良好な関係作り。また圃場での失敗も含めてすべての事から学ぶ(疑問点を残さずに卒業する)。

吉岡さんは、栽培に成功しても失敗しても学ぶ。同期や1年生の栽培状況から

1年生の声

雨宮さんは、野菜作りのプロを目指し、基本技能をしっかりと身につけ、自分のものにする。



関さんは、農業技術の向上、病害虫の迅速な発見と対応・適切な作物管理(果菜類の剪定など)や、経営者としての考え方を習得する。

玉川さんは、基礎的な農業の知識や技術の習得(島内消費野菜の栽培に活かしたいので幅広く習得したい)。

高見さんは、野菜の栽培方法や将来の農業経営について学ぶ

のほろん、アカデミーにいたる間にたくさんのチャレンジと



失敗をしておきたい。中村さんは、毎日が新しい発見、学びの連続。今後基本を忘れないため、また迷った時に基本に立ち返れるよう、内容記録と共に日記も記している。

研修生は人生経験や社会経験も異なり、今の思いはそれぞれであるが、独立就農という同じ目標に向けて情報交換や切磋琢磨し合いながらポジティブに取り組んでいる。

一方、就農後のことを考えると、常に農地の賃借をはじめ、農業機械や収穫調整場所、ハウス、電気、水道等の導入検討、販路などへの不安や心配事も大きな。これらの点については、地域の農家さんや関係機関の皆様のご理解とご支援・ご協力が何よりも重要だ。

環境保全型農業を推進

農場では環境保全型農業を進めるために様々な対応を講じてきている。写真は果菜類に被害をもたらす夜蛾への効果を検討中。このほか赤色光を利用したアザミウマ類に対する被害軽減効果など



商品作り・販売ノウハウの向上

研修では、品目や出荷先に応じて、商品づくりにも様々な工夫をされており、実際の直売等を通して、商品の陳列や販売方法なども改善しながら喜ばれる商品づくりに繋がっている。



これまでの天候

4月以降、八王子では気温はほぼ平年並みであったが、降水量はやや多くなった。梅雨入りは6月6日、

4~6月の主な出来事・作業

- (4月)
 - ・6日 Web・SNS活用EXPO、8日 入講式
 - ・11日 アグリノート活用Web説明、20日 国立市農家、あきる野農家視察、22日日野農家視察、28日 野菜直売
 - ・フードバンク提供 15日
- (5月)
 - ・10日 日野市BH農家視察、17日 東京MX打合
 - ・18日 管理課視察、19日 野菜直売、日の出町農家来所
 - ・23日 あきる野市農業委員会
 - ・フードバンク提供 13、20、25、27日
- (6月)
 - ・3日 東京MX取材、7日 三鷹農家、8日 次世代事業面談
 - ・15日 JAむさし農家来所、18日 農地調整、21日 野菜直売
 - ・23日 都庁出荷、東村山市調整、28日 北多摩農家視察
 - ・フードバンク提供 1、3、10、13、15、17、24、27日

各種SNS情報

研修農場では、研修状況等をツイッターやフェイスブック、インスタグラム等で配信しています。ご活用ください。

八王子研修農場
ホームページ

フォローもお願いします!